

2025 年 12 月

〒 130-0012
東京都墨田区太平 4 丁目 6-17
シェグランほり川 209 号室
日本神経治療学会

事務局 助成金ご担当者 様

公益信託 宮田幸比古記念 A L S 研究助成基金
PB03-募集案内No.217-217

公益信託 宮田幸比古記念 A L S 研究助成基金
受託者 三井住友信託銀行

公益信託 宮田幸比古記念 A L S 研究助成基金
助成申請募集のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当基金は「A L S の早急な根治療法の確立を希求し、A L S 研究者の研究活動に対する助成を行うこと」を目的として、2021 年 3 月に発足した基金です。

2026 年度の助成事業について別紙要項に従い研究助成者を募集することといたしましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、募集要項等を同封いたしますので、ご高覧の上、ご希望者にお申込み手続をおとりいただきたくお願い申し上げます。

まずはご案内とお願いまで申し上げます。

敬具

同封書類

1. 2026 年度 研究助成者募集要項
2. 研究助成申請書

《本件に関するお問い合わせ・申請書送付先》

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム
宮田幸比古記念 A L S 研究助成基金 申請口

TEL 03-5232-8910 (受付：平日 9 時～17 時)

公益信託 宮田幸比古記念ALS研究助成基金

2026年度研究助成者募集要項

1. 研究助成の趣旨

筋萎縮性側索硬化症（ALS）に関する基礎及び臨床研究に対して助成を行い、もって学術の振興と人類の福祉の向上に寄与することを目的とします。

（別添の当公益信託設定趣意書をご参照ください。）

2. 公募課題

前記の趣旨に沿う研究課題について募集します。

3. 助成採用予定及び1件当たりの金額の予定

若干名採用予定 1件あたり100万円を基準として予定。

4. 資金使途

- ・機器、試薬、実験用動物、消耗品、旅費、謝金等申請の研究推進に直接必要となる経費に充当するものとします。所属機関への委任経理とする場合、間接経費への使用及び使用者の変更を認めません。
- ・原則、2026年4月～2027年3月に使用する費用を対象とします。ただし、助成金受領日以降の使用を認めます。

5. 応募資格

2026年4月1日現在で満40歳以下の方（ただし、育児・産休休暇等を取得した者はその取得期間分の延長を認める）で、国内の機関において筋萎縮性側索硬化症（ALS）に関する基礎及び臨床研究を行っている者。

※ただし、過去5年以内の研究助成者は応募できません。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入し、下記提出先宛提出して下さい。

（応募書類は返却しません。）

尚、申請書用紙は三井住友信託銀行のホームページ公益信託のページ（下記参照）からもダウンロードできます。A4サイズでご使用ください。

又、申請書用紙は様式が同一であればパソコン等で作成しても結構です。

7. 募集期間

2026年1月13日（火）～2026年3月31日（火）（当日消印有効）

8. 審査方法及び通知

当公益信託の選考委員会で審査を行い、2026年7月末日頃までに申請者宛に採否の結果を通知します。

9. 助成金交付予定日

2026年9月下旬予定

【申請書の提出先・照会先】

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム
宮田幸比古記念ALS研究助成基金 申請口

TEL 03-5232-8910（受付：平日9時～17時）

申請書掲載URL <https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>

公益信託宮田幸比古記念ALS研究助成基金
設定趣意書

筋萎縮性側索硬化症（ALS）は過酷な病気です。運動神経系が少しずつ侵され、進行とともに、動くことも、息をすることもできなくなります。発症後5年以内に亡くなるとされています。

近年、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の機能障害に対する新たな進行抑制治療薬が開発されています。又、各種の専門職による症状改善治療により、ALSの転帰は大いに改善されました。しかし、依然として、ALSは原因不明で根治不能な疾患であり、今後さらなる病態解明と治療法の開発が望まれます。

私、宮田は、根治療法がないために、患者は望みを絶たれ、家族は介護で疲れ切ってしまう場面に接するにつけ、ALSの早急な根治療法の確立を希求し、ALS研究者の研究活動を援助すべく、公益信託宮田幸比古記念ALS研究助成基金を設定します。

令和2年9月10日

宮田 幸比古